

舟形町 有害鳥獣被害軽減モデル事業

農作物の鳥獣被害対策として実施する、侵入防護柵や電気柵の設置などに対して補助するものです。

▼対 象／電気柵または侵入防止のためのワイヤーメッシュ柵の導入

▼補助額／設置にかかった費用の1/2
上限10万円

【導入費用の例】

300m： 4～5万円

500m： 5～6万円

1000m： 9～12万円

※あくまでも参考です。

▼その他／詳しくはご相談ください。

▼問い合わせ／

舟形町農業振興課農業振興係

☎(32) 0947



電気柵のイメージ

有害鳥獣からの農作物被害を防止するには、次の3つの取り組みを個人、地域ぐるみで実施することが大切です。
防除や環境整備などできることから取り組むことが、みなさんの農作物を守る第一歩となります。

3つの取り組みで 被害防止



1. 捕 獲

町鳥獣被害対策実施隊を中心に、^{わな}罾による有害鳥獣の捕獲を行います。



2. 防 除

重要

侵入防護柵や電気柵の設置は効果的です。
防護柵の設置には、舟形町有害鳥獣被害軽減モデル事業による補助がありますので、ご相談ください。



3. 環境整備

重要

野菜くず、果物などはイノシシやクマの大好物です。これらを放置せず適切に処分し、出没させないことが大切です。

また、定期的に草刈りをし、鳥獣が近づきにくい環境にしましょう。



鳥獣被害を食い止めろ！

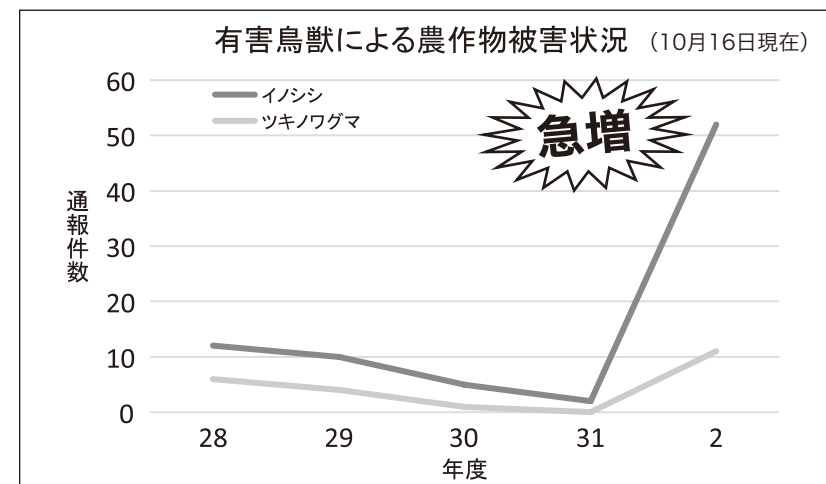
～忍び寄る侵入者たち～
けもの

近年、県内において有害鳥獣（イノシシ、クマ、サル等）の発生が急増し、農作物への被害が大きくなっています。同様に町でも農作物の被害が拡大し、深刻な状況となっています。

特に今年度は、全町のイノシシの被害報告や目撃情報が町に寄せられており、10月16日現在で52件となっています。これは昨年の記録的な暖冬少雪の影響もあり、イノシシにとって過ごしやすい環境であったことが原因の一つと考えられます。

これまで町では、鳥獣被害対策実施隊を中心に、“わな”による捕獲を実施し、被害防止に努めてきました。しかし、イノシシの被害を捕獲だけで防ぐことはできません。

イノシシをはじめとする有害鳥獣からの被害を防止するためには、有害鳥獣を呼び寄せてしまう原因を取り除く必要があります。



水稲作付地にイノシシが侵入し、穂を倒している状況（堀内地区）

Interview ～インタビュー～



舟形町猟友会
会長 八 鍬 仁 さん

近年、“捕獲”だけではイノシシの被害をなくすことは不可能となっています。罾を設置したからといって必ず捕獲できるというわけではなく、捕獲できたとしても頭数が多いため被害が減るという保証はありません。農家が丹精込めて作ったおいしい米は、イノシシにとってもおいしい米であり、何も対策しなければ、イノシシは遠慮なく侵入してきます。

これまではイノシシによる農作物の被害等ほとんどなかったこともあり、イノシシ対策をするということがピンとこないというのはあるかもしれません。しかし、今後は自主的に電気柵の設置や、一時的な対策ではありますが光や音、匂いによる対策等を行なっていかなければ、今後も被害は増えていく一方であると思っています。